



I. 安心安全の取り組み

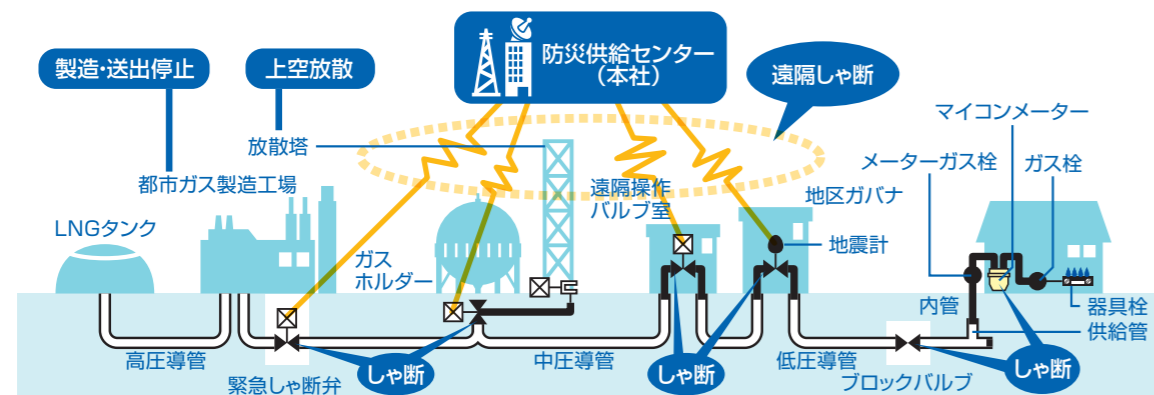
1. 地震・災害対策

都市ガスの設備は、大地震に耐えられるような安全な構造として設計されています。京葉ガスでは、地震・災害に対する安全性の向上を目指して、設備・緊急・復旧の観点で、保安・安全対策の強化を進めています。

(1) 設備対策 地震に強いガス設備を構築

耐震性に優れたガス導管や供給設備の構築、規定値以上の揺れを感じると自動的にガスの供給をしゃ断する保安システムの導入など、安全対策を推進しています。

供給ラインの安全システム



ガスホルダー



球体の部分は何枚もの高張力鋼をつなぎあわせてつくられています。また、支持地盤まで打ち込んだ杭や強固な鉄筋コンクリート基礎などにより、高い耐震性を確保しています。

ガス導管



高・中圧の導管には耐震性に優れた鋼管を、低圧には腐食しにくく可とう性のあるポリエチレン管を積極的に採用しています。また、万一、事故などで導管の一部に支障をきたしても、問題のない区域へのガス供給が継続できるよう、ネットワーク化された導管網を構築しています。

マイコンメーター

ガスメーターに組み込んだマイコンが24時間、ガスの使用状況を見守り、ガスのもれや地震(震度5相当以上)などを感知すると、自動的にガスを止めます。



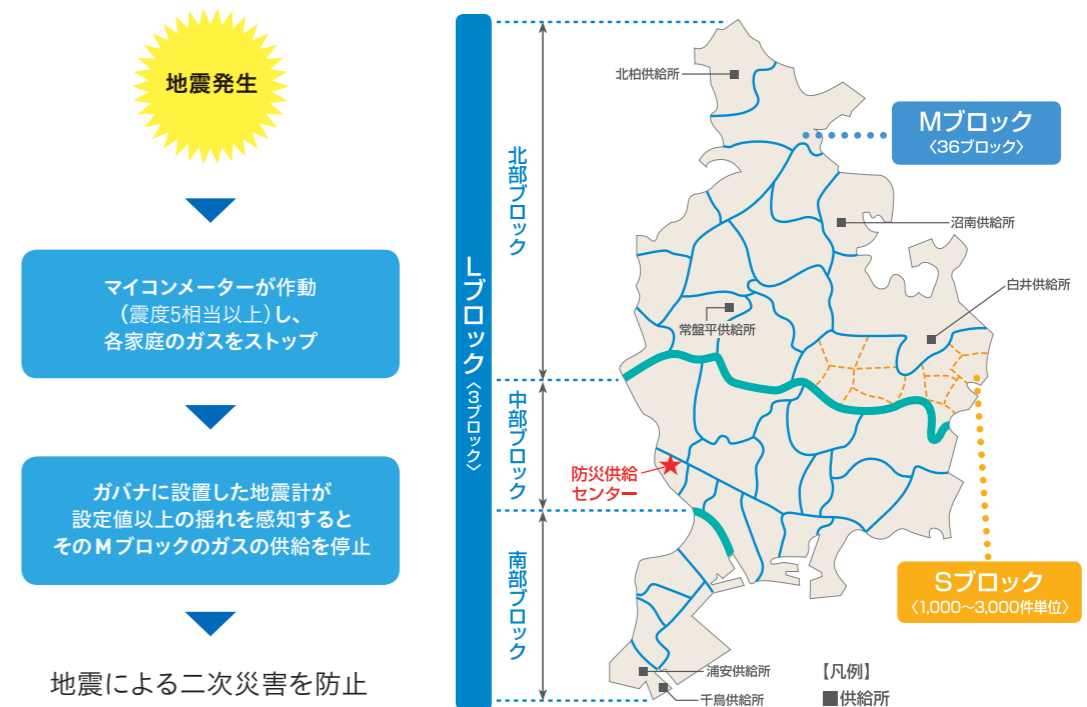
地震計

ガスの圧力を調整するガバナに地震計を設置。地震計が設定値以上の揺れを感知した場合に、ガバナを自動停止させ、低圧のガス供給をしゃ断します。



(2) 緊急対策 二次災害を防ぎ、ガスの供給停止範囲を極小化

供給エリアを北・中・南部のLブロック、さらに全体を36のMブロックに細分化し、約400カ所に設置している地震計が一定以上の揺れを感知した場合は、二次災害防止のため、該当するMブロック地区のガス供給を停止します。ブロック化された導管網により、問題のないブロックへの供給を継続して行い、影響を最小限に抑えます。また、地震・災害発生時の緊急体制を整備し、さまざまなリスクへの対策を整えています。



緊急体制の整備

社員自動出勤[※](個人動員カード)

KEIYO GAS 個人動員カード	
地震時のあなたの所属班、出社場所と役割を確認しておきましょう	
氏名	京葉 太郎
所属班	供給班
出社場所	防災供給センター2階
役割	供給設備点検隊
動員基準	5弱 5強以上 警戒宣言
非常体制	第1次A 第1次B 第3次
動員対象者	対策本部 営業班 供給班 全班

対策本部設置(訓練)



供給設備常時監視・操作(供給指令室、監視制御システム)



出動体制(緊急作業車両)



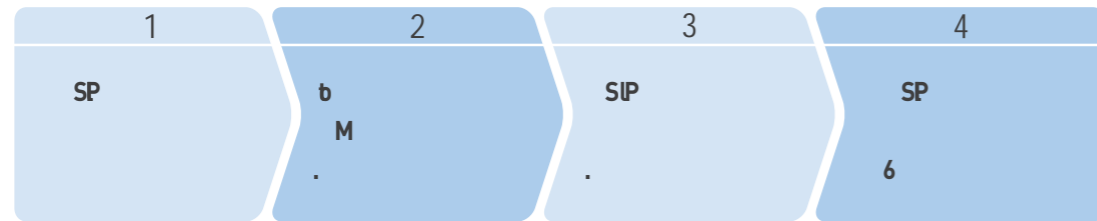
※供給区域の各市の震度階が5弱以上と発表された場合は、当社社員は休日・夜間を問わず、あらかじめ決められた場所へ出動する体制をとっています。(市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、浦安市、船橋市、柏市、流山市、白井市)



(3) 0

6

t M 1,000 3,000Eo
 plhM t S
 tAsA,PT
 Su t
 M



2.0

(1)

StSMhixtSIP
 tSMtoM



SI

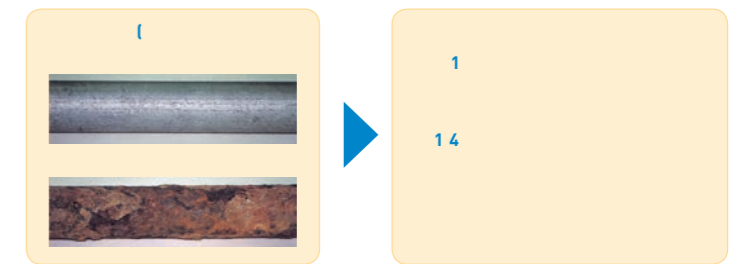
Mto
 hMto
 Mhtto
 M t h

(2)

StMroNSMhixt
 px 365 24CMTtoM

(3)

Ofy
 Sxh
 Mht
 dM



+ty
 tSMhixt
 tRM
 ga sre
 e hB
 hM

Cy
 tS
 hx
 O+SI
 Ct
 dM



C

+.g 240
 StSt0 h
 +.gtmMo 365 24.g
 bM

-.h BCP
 GFsrBtpM
 oNB
 dlhTg~
 n MoM
 srCto0
 JgtRoM